

日本原子力研究開発機構 令和7年度
工事契約に関する入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	令和8年1月15日(木) 13:30~16:50 機構本部会議室1及び2(リモート会議併用)	
委員	委員長: 金利昭(茨城大学名誉教授) 委員: 武田彩織(弁護士) 委員: 田中豊明(元茨城県職員)	
審議対象期間	令和6年10月1日~令和7年9月30日	
抽出案件(合計)	3件	備考) 抽出案件の個別審議については、 別紙のとおり。
工事(小計)	2件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札(上記工事を除く)	2件	
指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	1件	
随意契約(確認公募)	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件

番号	契約種別	契約方式	契約件名
(1)	設計・コンサルティング業務	一般競争入札	R6 大洗研 HTTR-熱利用試験施設設計検討業務
(2)	建設工事	一般競争入札	No. 4BANK 変圧器更新工事
(3)	建設工事	一般競争入札	むつ科学技術館低濃度 PCB 塗膜除去工事

意見・質問	回答
<p>1. 日本原子力研究開発機構において令和6年10月1日～令和7年9月30日に発注した建設工事について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ミワ電機は「低入札」が多いが、問題はないのか。（金委員長） ・不落随契についてご説明いただきたい。（金委員長） ・不落随契になるということは予定価格が低すぎたのでは。インフレの影響は積算に反映されているのか。（金委員長） ・人形峠や幌延では不落随契約が多くみられますが、地域的な特性によるものか？また、対策はしているのか。（武田委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数案件を継続して受注している業者は、人員配置や工期調整がしやすく、コストが下げられる場合がある。当機構の業務内容や手続きに慣れている点も影響している可能性があり、現時点で不適切な点は確認されていない。 ・不落随契とは当機構の設定した予定価格に対して原則3回入札を行い、3回目の入札においても落札とならなかった場合に、第3回目において最低価格を提示した企業から順に金額交渉をさせていただき、予定価格内で妥結した契約です。 ・契約が成立していることから、予定価格自体に問題があったとは認識していない。国交省等の積算基準を用いており、一定程度は反映されており、現行制度の範囲では妥当と考えている。 ・公告方法の工夫や業者への声掛け等を行っているが、人手不足や遠隔地案件の影響もあり、応札者確保は依然として課題である。
<p>2. 日本原子力研究開発機構において令和6年10月1日～令和7年9月30日に発注した設計・コンサルティング業務について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率の計算が合っていない箇所がある。（金委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料訂正いたします。
<p>3. 令和6年10月1日～令和7年9月30日に実施した指名停止等の措置状況について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名停止の件数が増えていますが、機構の工事への影響は。（金委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ・当機構が発注した工事で該当する案件はありませんでした。

<ul style="list-style-type: none"> ・低入札が原因で、後から不履行になるケースはないのか。(金委員長) ・指名停止理由の中には、いるはずの技術者が配置されていなかったなど記載あるが、契約条件は現場で確認しているのか。(金委員長) <p>4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における個別抽出案件の審議</p> <p>(1) 【低入札】「 R6 大洗研 HTR-熱利用試験施設設計検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務を「その他の設計コンサルティング業務」に区分した理由は何か。(金委員長) ・過年度に実施した設計業務との関係性や連続性はどのようになっているのか。(金委員長) ・プラント設備設計と建築・土木設計を分離発注することは一般的なのか。(金委員長) ・建屋デザインが簡素に見えるが、景観や働きやすさへの配慮は行われているのか。(金委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて低入札調査を実施し、財務状況・履行体制を確認したうえで契約しており、現在、履行に支障が出ている案件はない。 ・作業員名簿等により確認をしております。加えて、現場や Web を通じた日常的な確認も行っております。 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の性質上、建築環境業務や施工管理業務などの既存の分類には当てはまらないため、「その他」として整理しております。 ・過年度の設計業務では、主に水素製造設備（プラント設備）側の基本設計を実施しており、本件はその成果を前提条件として、建築・土木分野における設計検討を行うものである。設計対象や専門分野が異なるため、業務は分離して実施している。 ・原子力関連施設では、プラント設計と建築・土木設計を分離し、専門性の高い事業者がそれぞれ担当するケースが一般的であり、本件も同様の考え方に基づいている。 ・現段階はボリューム検討を主とした設計検討段階であり、詳細な意匠や内装デザインは今後の実施設計で検討する予定である。委員からの意見を踏まえ、職場環境や快適性への配慮も検討していく。
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 資料 p26 の「参加者が 1 社にとどまった理由」のなかで「新規制基準対応実績」を参加資格要件としたとしているが、新規制基準は 2013 年（平成 25 年）にできたはず。求める実績を過去 15 年間（平成 21 年以降）のものとしているが、本来なら少なくとも新規制基準ができた平成 25 年以降の実績にすべきではなかったかと思う。この点を踏まえて、実績対象期間を「過去 15 年間」とした理由を聞きたい。（田中委員） 入札説明交付者数は 3 者であったが、入札参加者は 1 者であった。2 者が参加しなかった理由は何か（武田委員） 要件を①～③に分け、いずれかを満たせば良いとしているのであれば、分割発注をすると応札企業が増えるのではないのでしょうか。（武田委員） <p>(2) 【一者応札】「No. 4BANK 変圧器更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事着手は新年度以降であるにもかかわらず、3 月中に技術者を確保する必要があったのはなぜか。（武田委員） なぜこの時期に公告せざるを得なかったのか。（武田委員） 競争参加資格として 1100 点以上を求めた理由は何か。（武田委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 原子力施設の設計実績は案件数が限られるため、一定期間を確保しないと実績評価が困難となる。一方で、原子力施設に関する設計技術は大きな断絶がないことから、15 年間の実績でも技術的妥当性は確保できると判断している。 要件では耐震 C クラス以上の原子力施設設計実績等を求めているが、必ずしも新規制基準施行後の実績に限定してはいない。技術的な安全性確保を目的とした要件である。 交付者は、参加したニュージェック㈱のほか、2 社いたが、1 社は HTTR 熱利用試験施設に係る設備を整備する主体企業として取得しており、もう 1 社は取得した時期が公告期限の直前であったため、準備期間を理由に参加しなかった。 設計を一緒にした理由としては、お互いに関係性をもって使うため、施設として一体性、統一性を重視して一つの案件としております。 <p>(2) 【一者応札】「No. 4BANK 変圧器更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 競争参加資格確認申請時に配置予定技術者を特定し、技術審査を行う必要があるためである。審査後に技術者を変更できるのは極めて限定的な場合に限られる。 補正予算による事業であり、工期末（令和 9 年 3 月 31 日）までの完了が求められている。また、変圧器の製作期間が約 18 か月必要であるため、製作期間から逆算すると 3 月中の契約が不可欠であった。 審査要領に基づき、予定価格が 1 億円以上の電気工事については 1100 点以上とする基準が定められているためであり、本工事独自に厳格化したものではない。
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・予算の性質や製作期間の制限ゆえに3月の公告となったのであり、これは例外的な対応か。(金委員長) <p>(3)【低入札】「むつ科学技術館低濃度PCB塗膜除去工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の工事の対象は、いわゆる「低濃度PCB汚染物」と考えてよいか。(田中委員) ・低濃度PCB塗膜が施されたものを展示物として置いていたということは、汚染物の管理として問題なかったのか。(田中委員) ・そもそも、なぜ「PCBを含まないとされていた塗料」からPCBが検出されたのか。(金委員長) ・入札参加資格要件としての過去の実績について、「PCB汚染物を建築物等から除去する工事」ではなく「人体に有害な物質を建築物等から除去する工事」とした理由を説明願いたい。(田中委員) ・技術審査報告書の、株式会社Inflatの工事実績をみると「住宅等の外壁補修、屋上防水、構内整備等」となっている。この工事が、入札参加資格要件の「人体に有害な物質を除去する工事」に該当する理由を説明願いたい。(田中委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・御認識のとおり、繁忙期に重ならないよう予算を繰り越す等の対応を可能な限り実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・本件は低濃度PCB含有塗膜に該当する。検査の結果、PCB濃度はおおむね0.5～10ppm程度と微量であるが、PCB特別措置法等に基づき、除去・適正処分が必要な対象である。 ・船舶由来の展示物において塗膜中に固定されており、剥離・飛散するような状況にもないことから、一時的に展示物に触れたことで健康被害が生じるという可能性は極めて低いと考えている。 ・環境省からの調査要請に基づき、船舶建造当時の資料を確認したところ、本工事個所についてPCB含有塗料が使われたという記録は無かった。しかしその後、他事業者からの情報に基づき詳細調査を行ったところ、非含有とされていた塗料から微量のPCBを検出したもの。 ・人体に有害な物質の除去工事に関する安全管理、飛散防止、人体吸引防止等の構内作業などが担保できるよう資格要件や実績要件を定めた。 PCBに限定しなかったのは入札参加の門戸を広げるためである。 ・当該工事実績は、人体に有害な物質としてのアスベストの除去工事も含んでいる。
--	--

<ul style="list-style-type: none"> • 低入札調査基準価格は一般的に予定価格の 7.5/10 から 9.2/10 の範囲内で定めると思うが、本案件ではそれ以下、となっている。これは何故か。(田中委員) • 低入札調査の概要をみると、直接工事費での大幅な差異がみられたとのこと。人工に大きな差があったのかと思うがどうか。(田中委員) • 応札者数を増やすための取組は行っているのか。(金委員長) • 積算のため事前に徴取した参考見積と、実際の入札額とで大きな差が出ているのは何が違ったのか。技術力が違うということは、積算上は時間数が少ないということか。(武田委員) • 落札業者の入札価格と順位 2 位の入札業者の入札価格は大きな開きがある。入札価格について規定通りの低入札調査は実施されているものの、本件の場合には順位 2 位の入札業者への聞き取りなど、より突っ込んだ調査があつてよい。今後の課題としていただきたい。(金委員長) <p>5. その他</p> <p>(1) 再苦情処理会議への申立状況報告 (該当なし)</p> <p>(2) その他 (なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 予定価格が一定額以上の工事案件において、入札額が低入札調査基準価格より著しく低い時には、「特別重点調査」として調査をより厳密に行っている。資料に記載されているのはその特別重点調査の基準額である。 • 落札業者は有害物質除去工事の施工実績が数多くあり、効率的な工事の実施ノウハウを持っていることから、少ない工程で作業をこなすことが可能となり、低コストにつながったと捉えている。 • 実施時期の工夫、要件設定の妥当性検証、市場調査結果の活用などにより、競争性向上の余地がないか検討していく。 • PCB 除去のような専門工事については、刊行物に市場価格の情報がなく、積算に当たり参考見積に頼らざるを得ない場合がある。本件では地元業者の見積を基に積算したが、結果として施工実績が豊富な関東圏の専門業者が応札し、その差が生じたものと考えている。 • 落札業者と順位 2 位の入札業者との比較は行っていない。PCB の除去工事は特殊な業務で刊行物などに価格も出てこないため検証が難しいが、今後の課題として取り組みたいと考えている。
---	--

6. 講 評

(審議講評要旨)

- ・日本原子力研究開発機構が、令和6年10月1日から令和7年9月30日までに発注契約した「建設工事」及び「設計・コンサルティング業務」に係る発注契約の手続きの適格性について、抽出案件の審議を通じて審査した結果、「公共工事の入札及び適正化の促進に関する法律」の趣旨に沿って適正に行われていることを確認した。(金委員長)